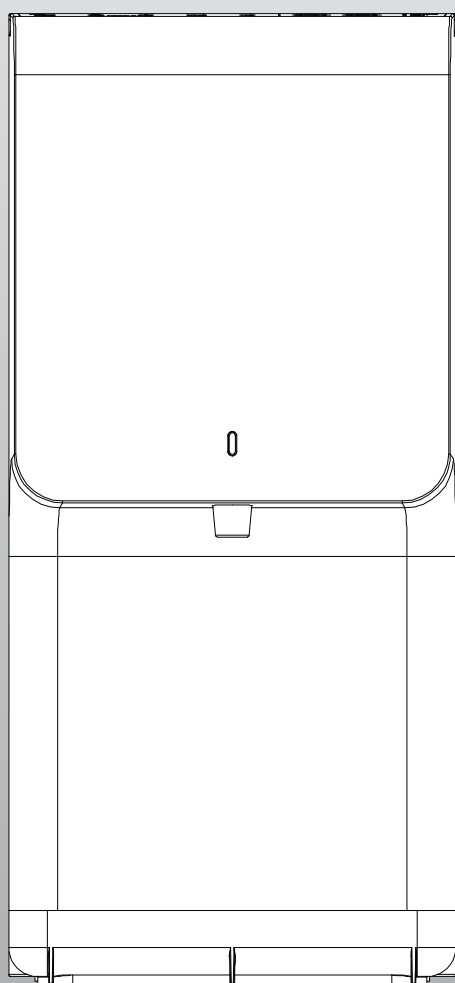


浄水型ウォーターサーバー 取扱説明書



 **Locca**
by PREMIUM WATER

型番 LC26D1S-PW-AW

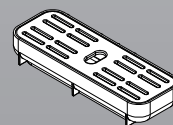
もくじ

	ページ
● 安全上の注意	1~2
● 各部の名称	3~4
● 製品仕様	5
● 初回設置の手順	6~7
● 使用方法	8~10
● 浄水カートリッジ交換方法	10~11
● 定期的な清掃のお願い	12
● その他の注意点	13
● エラー表示	13
● 故障かな!? と思ったら	14
● Q&A	15

この「取扱説明書」は
設置前（電源を入れる前）に
必ずお読みください。

付属品確認のお願い

- ☐ 取扱説明書：1部（本書）
- ☐ 浄水カートリッジ：1本
- ☐ 水受け皿：1個



上記同梱物をご確認の上、欠品・破損等ございましたら、
本書に記載の問合せ先までご連絡ください。



動画で見るウォーターサーバーの
使い方・お手入れ方法

この「取扱説明書」は、設置前に必ずお読みください

設置前によくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

安全上の注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みの上、正しくお使いください。

表示の説明		図記号の説明	
	「死亡又は重傷を負う可能性がある内容」を示します。		「してはいけない（禁止）」を示します。
	「軽傷を負うことや、家屋・家財等の損害が発生する可能性がある内容」を示します。		「しなければならない（指示）」を示します。

本製品は日本国内用に設計されています。規格の異なる海外では使用できません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

■設置するときは

 警告（漏電・火災・怪我等の原因になります。）	
	●水平で安定した場所に設置する 不安定な場所への設置は転倒による怪我等の原因になります。
	●浴室・シャワー室・屋外等、水がかかる場所に設置しない 感電・火災の原因となります。
	●湿気の多い場所・水気のある場所で使うときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける お近くの電気工事店へご相談ください。
	●アースはガス管・水道管・避雷針・電話回線のアースに接続しない 火災の原因になります。
	●ヒーターやコンロの近く等、可燃性のガスが漏れる可能性のある場所や高温になる場所に設置しない 爆発や火災の原因になります。
 注意	
	●ウォーターサーバーは室内の直射日光の当たらない場所に設置する 機能の低下・漏電の原因になります
	●ウォーターサーバーの背面・左右側面と壁の間は 15cm 以上離して設置する 熱がこもり機器の機能が低下する恐れがあります。また静電気により壁・カーテンが黒く汚れる恐れがあります
	●畳・絨毯・クッションフロア・床暖房等の強度の弱いところには設置しない 床材の破損や床材に跡がつく恐れがあります。
	●ウォーターサーバーを設置・移動する際は、製品の角等で怪我をしないよう注意する 手袋の着用をおすすめします。
	●傷つきやすい床の上では、ウォーターサーバーを滑らせたり引きずって移動しない 床に傷をつける原因になります。
	●ウォーターサーバー設置・移動後は 1 時間以上置いてから電源を入れる 冷蔵庫と同じで冷媒を安定させるための時間です。
	●卓上に設置するときは、水受け皿が卓上内に収まるように設置する 水受け皿が落下する恐れがあります。

■電源のプラグやコードは

 警告（感電・火災・怪我等の原因になります。）	
	●電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う 火災・感電の原因になります。
	●たこ足配線はしない 発熱による火災の原因となります。
	●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い場合は使用しない 感電・ショート・火災の原因になります。
	●電源コードは、傷つけない・束ねない・無理に曲げない・重いものを載せない・強く引っ張らない 火災・感電の原因になります。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込む 感電・ショート・火災の原因になります。
	●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。

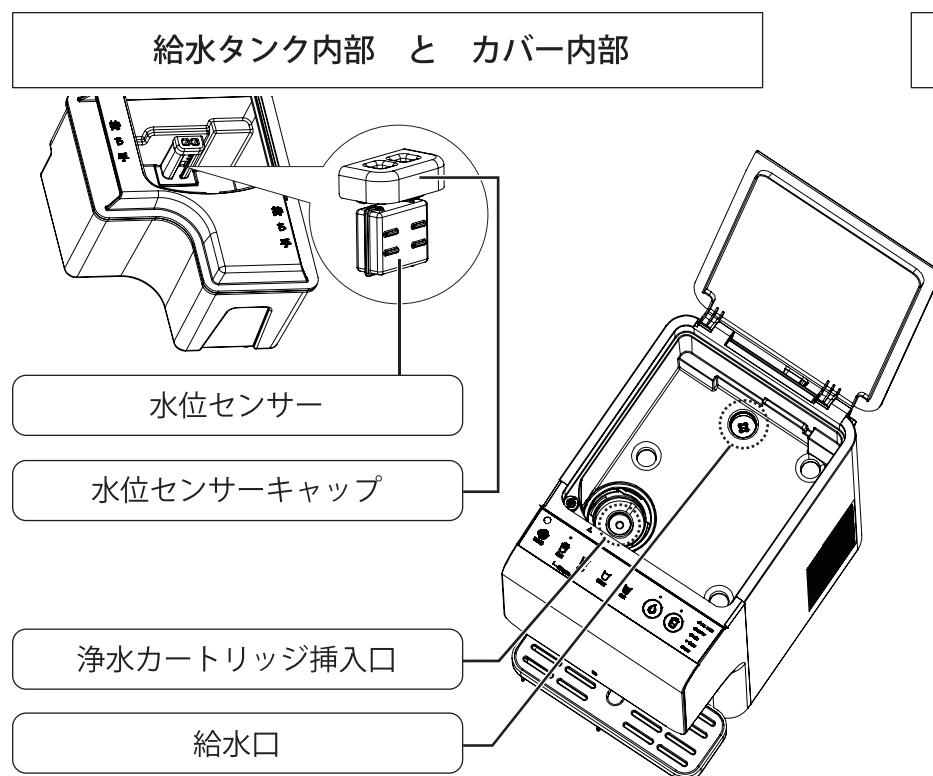
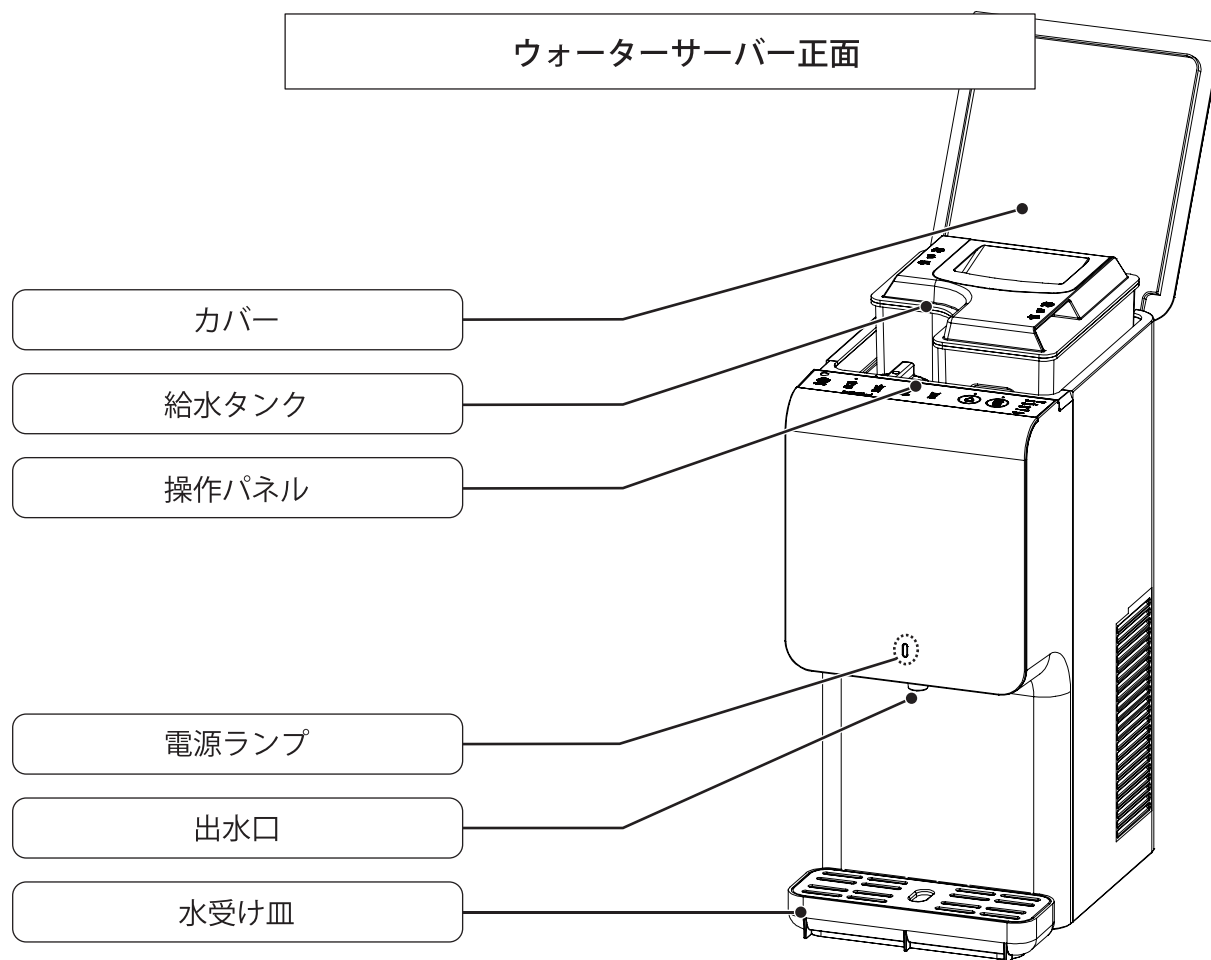
安全上の注意（必ずお守りください）

■電源のプラグやコードは

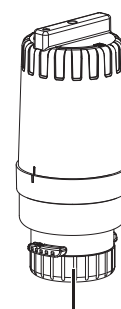
 警告 （感電・火災・怪我等の原因になります。）	
	●定期的に電源プラグについたほこりを乾いた布で拭き取る 火災の原因になります。
	●お手入れのときは電源プラグをコンセントから抜く 火傷・感電の原因になります。
 注意	
	●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。
	●長期間使用しない場合でも電源を抜かない 電源を抜いたままにすると、本体内部が不衛生となり雑菌により臭いを発することがあります。

■お使いのときは

 警告 （感電・火災・怪我等の原因になります。）	
	●動かなくなったり異常がある場合は、電源プラグを抜いて、カスタマーセンターに連絡する 感電・火災の原因になります。
	●温水は高温のため火傷に注意する お子様が温水に触れないように注意してください。
	●排水口は通常使用しない 誤って使用すると水漏れや火傷の原因になります。
	●ウォーターサーバー本体に水をかけない 感電・火災・故障の原因になります。
	●ガラスのコップに温水を注がない 火傷・怪我等の原因になります。
	●ウォーターサーバー背面の放熱板に触らない 高温により火傷の恐れがあります。
	●分解・改造・修理をしない 火災・感電・怪我等の原因になります。故障した場合は、カスタマーセンターにご連絡ください。
	●小さなお子様等、取扱いに不慣れな方だけで使用したり、乳幼児に触れさせたりしない 感電・怪我・火傷の原因になります。
	●背面の冷却回路を傷つけない 可燃性の冷媒を使用していますので、着火・着火による爆発の恐れがあります。
 注意	
	●ウォーターサーバーのまわりに水に弱い物を置かない（電子機器・時計・革製品・書籍等） まわりに置いた物が故障・破損する恐れがあります。
	●ガラスのコップに出水する際は、コップの破損に注意する 怪我等の恐れがあります。
	●HOT スイッチは必ず ON にした状態で使用する HOT スイッチが OFF の場合、本体内部が不衛生になり雑菌により臭いを発することがあります。
	●冷水・温水を定期的に使用する 冷水・温水を定期的に使用することにより、内部タンクの水が循環します。水の滞留は避けてください。
	●水道法の水質基準に適合した水を使用する 体調を損なう恐れがあります。
	●給水タンクに 35℃以上の水道水を入れない
	●ウォーターサーバーの水を養魚用に使用しない 魚の生息環境に適さない可能性があります。状況によっては魚が死ぬことがあります。
	●浄水カートリッジを分解しない 分解すると正常にご使用できません。
	●定期的に浄水カートリッジを交換する ろ過性能を維持するため、浄水カートリッジが届いたらすぐに交換してください。
	●浄水カートリッジは純正品を使用する 純正品以外の浄水カートリッジを使用すると、故障や水漏れの原因になります。
	●シンナー・ベンジン・塩素系・酸性タイプの洗浄洗剤を使用しない ひび割れ・感電・引火・有毒ガス発生の原因になります。
	●定期的に水受け皿の水を捨て洗浄する 衛生面で悪影響を及ぼしたり、ウォーターサーバーの水漏れの原因になります。
	●定期的に放熱板の清掃をする 冷却効果が下がる恐れがあります。※火傷防止のため電源を切り、熱を冷ましてから清掃をおこなってください。



浄水カートリッジ

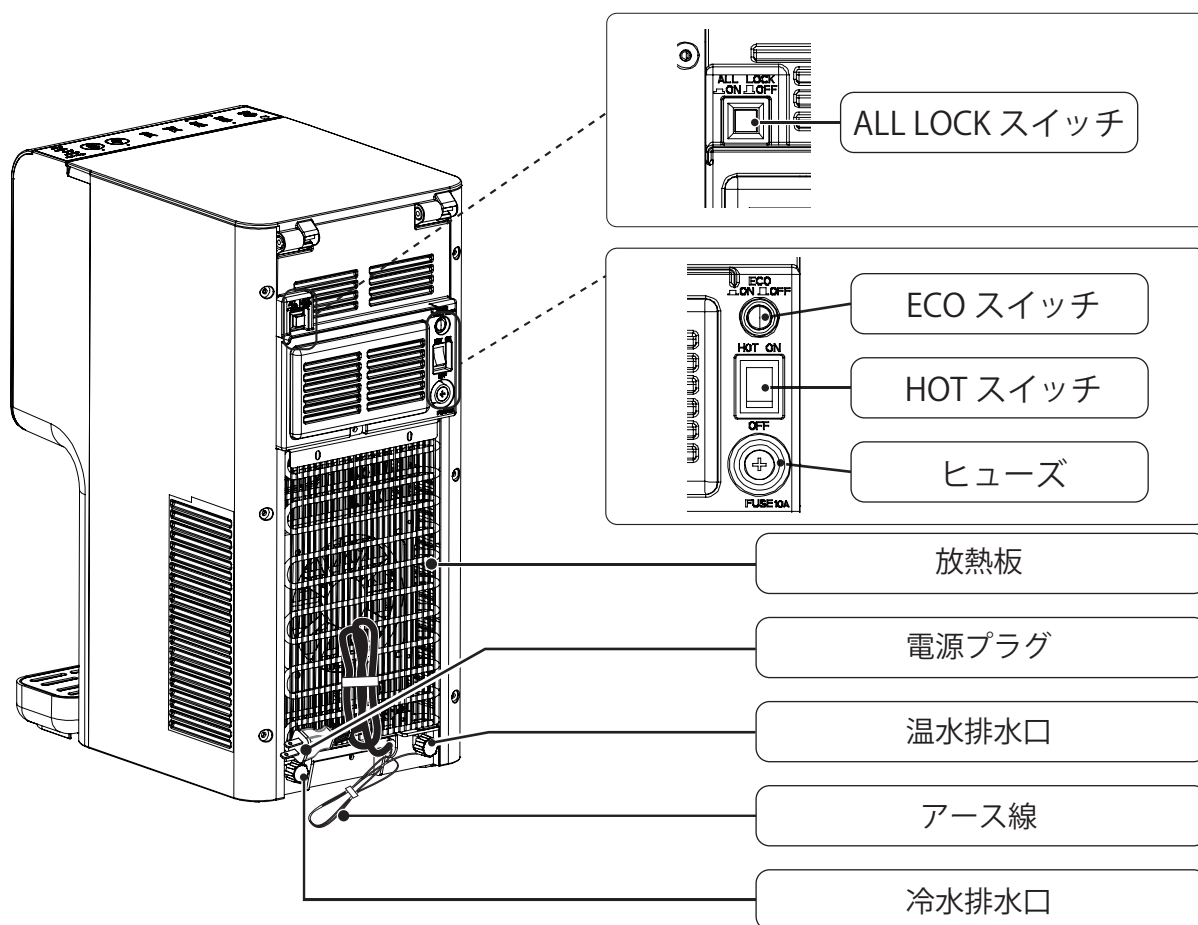


キャップ
使用時に取り外してください。

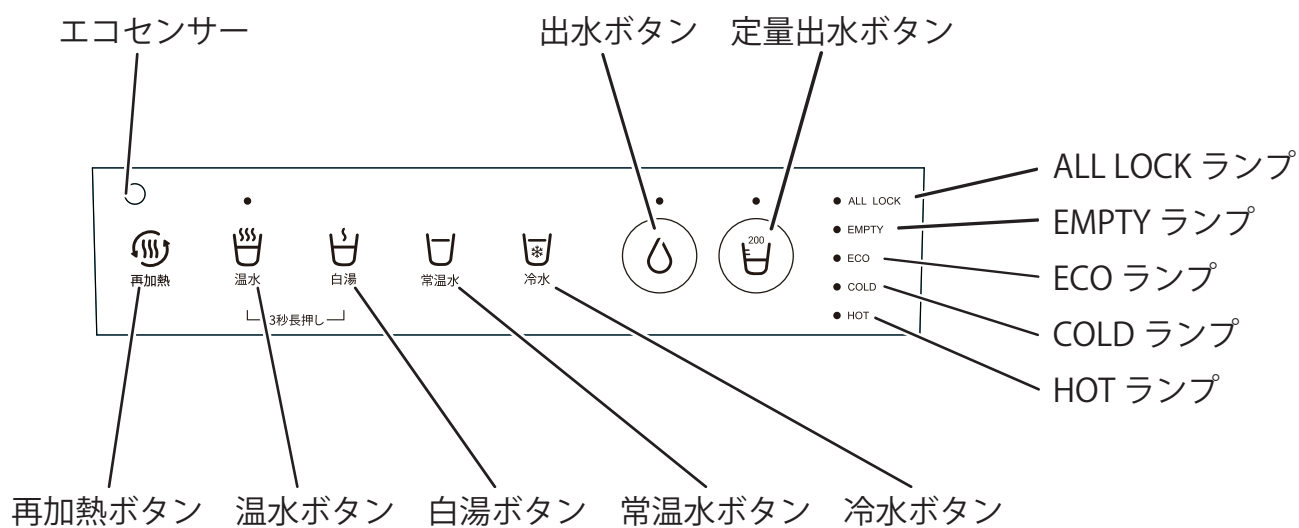
殺菌灯について

本製品は、冷水タンク内に
UV 殺菌灯を内蔵しています。

ウォーターサーバー背面



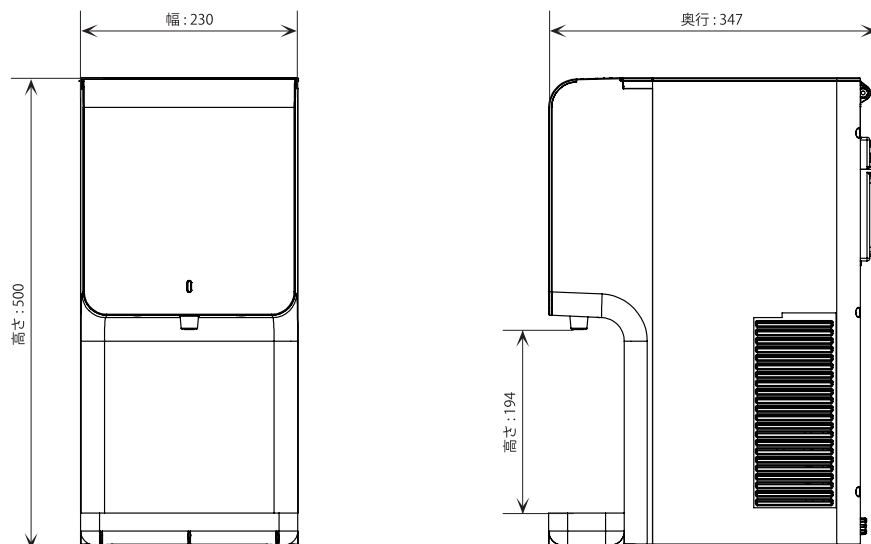
操作パネル



製品仕様一覧表

製品名		浄水型ウォーターサーバー	浄水能力 総ろ過水量 1200L 除去率 80% JIS S 3201 試験結果 総ろ過水量 1200L 除去率 80% 総ろ過水量 200L 除去率 80% 総ろ過水量 100L 除去率 80% 総ろ過流量 1200L 除去率 80%
型番		LC26D1S-PW-AW	
本体寸法	高さ×幅×奥行	500mm × 230mm × 347mm	
本体重量		12.5kg	
定格電圧		AC100V 50/60Hz	
電源コード		1.8m	
定格消費電力	冷却 / 加熱	53W(0.75A) / 350W	
殺菌灯電力（冷水タンク）		3mW	
材質	給水タンク	ABS、ポリプロピレン、シリコン	
	浄水カートリッジ	ポリプロピレン、シリコン	
	冷水・温水タンク	ステンレス	
	本体パネル	ABS	
	出水口	ABS	
タンク容量	給水タンク	3.0L	
	冷水タンク	1.0L	
	温水タンク	1.0L	
出水温度	冷水	約 6℃	
	常温水	約 25℃	
	白湯	約 55℃	
	温水（再加熱後）	約 85℃（約 90℃）	
冷媒		R600a	
温度過昇保護装置（安全装置）		バイメタルサーモスタット	
使用環境温度（推奨）		5℃～35℃	
仕様流体		水道法水質基準に適合した水	
ろ材の種類		活性炭・ポリプロピレン・セルロース・PET	
ろ過流量		1.2L/分	
ろ材交換時期の目安		12 か月（1 日 3.3L 使用の場合）	
使用上の注意		●水道法の水質基準に適合した水をお使いください。 ●井戸水では使用しないでください。 ●ろ材の交換時期の目安は、使用水量、水質、水源等により異なります。 ●35℃以上の水道水をろ過しないでください。 ●浄水のくみ置きはしないで早めにお使いください。 ●凍結の恐れのある場所には設置しないでください。 ●養魚用等には使用しないでください。 ●使用済みの浄水カートリッジは、プラスチックごみとして廃棄してください。	
			・遊離残留塩素 ・クロロホルム ・ブロモジクロロメタン ・ジブロモクロロメタン ・ブromoホルム ・シス -1,2- ジクロロエチレン及びトランス -1,2- ジクロロエチレン ・テトラクロロエチレン ・トリクロロエチレン ・ベンゼン ・総トリハロメタン ・CAT（農薬） ・2-MIB（カビ臭） ・溶解性鉛 ・陰イオン界面活性剤 ・フェノール類 ・ジェオスミン ・濁り ・有機フッ素化合物 (PFOS/PFOA) ・四塩化炭素 ・1,1,1- トリクロロエタン ・1,2- ジブromo-3- クロロプロパン ・ダイアジノン ・ジクロロアセトニトリル ・エチルベンゼン ・キシレン ・トルエン ・1,1- ジクロロエチレン ・ジブromoアセトニトリル ・ジクロロメタン ・カルバリル ・トリクロロアセトニトリル ・パラチオン ・フェニトロチオン ・水銀 ・アルミニウム ・鉄（溶解性） ・カドミウム ・銅 ・抱水クロラール ・ハロ酢酸 ・色度 ・大腸菌 ・黄色ブドウ球菌 ・サルモネラ菌 ・緑膿菌 ・赤痢菌（シゲラ） ・肺炎菌 ・シュドモナス フルオレッセンス ・セレウス菌 ・セラチア マルセッセンス ・ラオウルテラ ・バクテリオファージ MS2 ・ノロウイルス

製品寸法図



※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

[単位: mm]

初回設置の手順

1 設置場所の確認

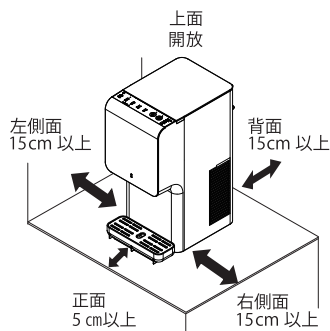
設置場所をご確認ください。

●設置に必要なスペース

冷却性能の維持・給水スペースの確保のため以下の設置を推奨します。

上面	開放
正面	5cm 以上※ 1
背面	15cm 以上
左側	15cm 以上
右側	15cm 以上

※ 1 水受け皿の落下防止のため水受け皿が卓上内に収まるように設置してください。



使用環境温度（推奨）

効率よく水を冷やすためにも、製品を使用する環境温度は「5℃～35℃」をおすすめします。

設置できる場所

・水平で安定したところ

設置できない場所

- ・傾斜がある場所
- ・強度が弱い場所（畳・クッションフロア・絨毯・床暖房等）
- ・通路や防災機器（消火器）の使用を妨げる場所
- ・直射日光が当たる場所
- ・熱器具の近く
- ・水のかかる場所
- ・屋外

⚠ 設置環境の注意

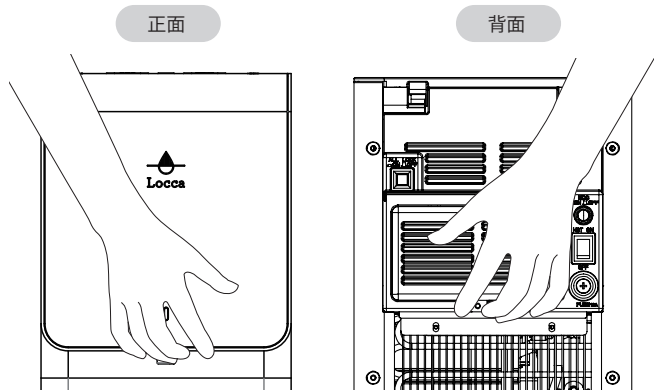
臭いの強い物の近くに設置すると、水に臭いが移る可能性があります。

芳香剤 洗剤 タバコ 線香 等

⚠ 移動時の注意

ウォーターサーバー移動時は、正面出水口付近と背面の凸部をしっかり持つておこなってください。

傷付きやすいところではウォーターサーバーを滑らせたり、引きずって移動させないでください。



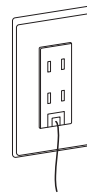
⚠ 注意

冷媒を安定させるため、ウォーターサーバーが届いても1時間は電源を入れないでください。また移動したときも同様です。

2 アース線の取付方法

感電事故防止のため、

アース線の取付けをおすすめします。



□電源コンセントにアース端子がある場合

アース線の先端をアース端子に取り付けてください。現在ご使用中の家電製品（エアコン・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機等）と一緒に、アース端子を共有接続していただくこともできます。

□電源コンセントにアース端子がない場合

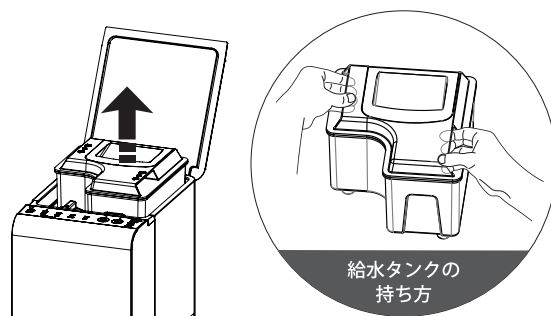
漏電の恐れがあるため取付けをおすすめします。お近くの電気工事店へご相談ください。

⚠ 注意

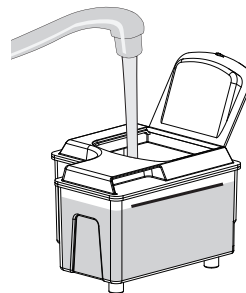
ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線とは共用接続しないでください。

3 浄水カートリッジと給水タンクの取付方法

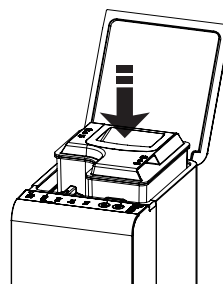
①給水タンクを取り外し、すすぎ洗いをしてください。



②給水タンクの赤い目盛りまで水道水を入れます。



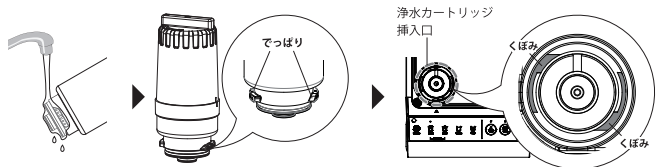
③給水タンクを戻します。 ※しっかり下に押しします。



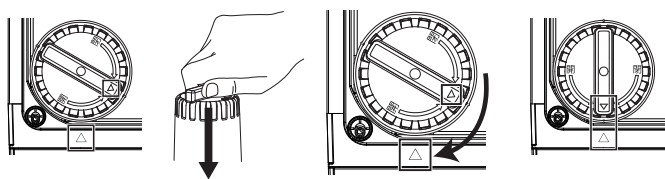
④浄水カートリッジの包装とキャップを外します。

初回設置の手順（つづき）

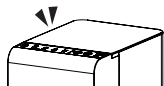
- ⑤ あらかじめ浄水カートリッジの下部を水道水で濡らし、2か所のでっぱり（下図参照）を浄水カートリッジ挿入口の2か所のくぼみに合わせ入れます。



- ⑥ 浄水カートリッジ上面に記載された▽を真下に押しながら、本体側の△に合わせるように矢印の方向に回してください。



- ⑦ ウォーターサーバーのカバーを閉めます。

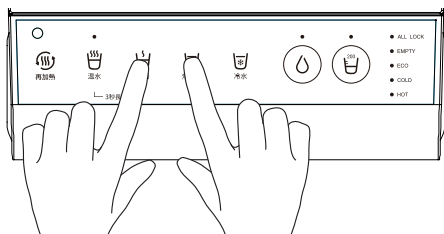


4 初回給水作業

※②の手順後、少量の水が出る場合があるため、水受け皿の上にコップを用意してください。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ・電源が入ったら「ピー」と音をするのと同時にランプがすべて点灯し、消灯します。
 - ・正面の電源ランプ・操作パネルの COLD ランプが再度点灯します。

- ② 白湯と常温水を同時に5秒間長押ししてください。
「ピー」と音がしたら給水作業が開始されます。



- ③ 約2～3分後に「ピー」と音がしたら給水作業が終了です。

※給水中に給水タンクの水が少なくなると、アラーム音が鳴り EMPTY ランプが点灯します。
EMPTY ランプが消えるまで水を注ぎ足してください。

- ④ 給水終了後は、給水タンクの赤い目盛りまで水を注ぎ足してからご使用ください。

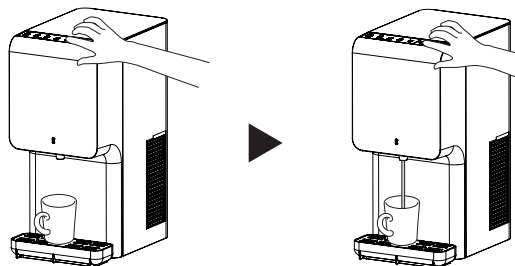


5 出水確認

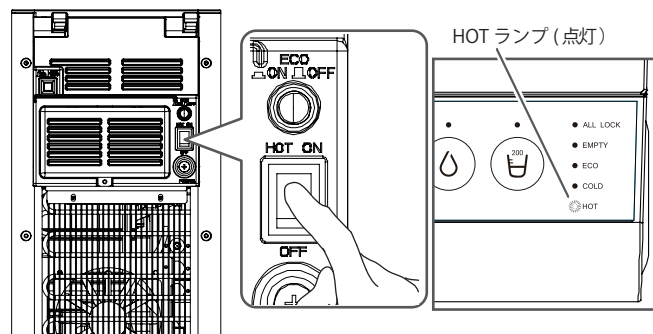
※水受け皿の上にコップを用意してください。

- ① 操作パネルの表示が消えているときは、操作パネルに触れるか、○を1回押してください。

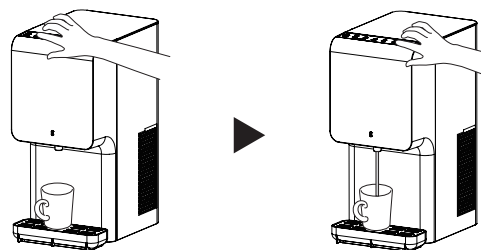
- ② 冷水ボタンを押してください。
冷水ボタンが青く点灯し、冷水が選択されます。
○を押し続け、出水を確認します。



- ③ 背面の HOT スイッチを ON にしてください。
操作パネルの HOT ランプが点灯します。



- ④ 温水ボタンを約3秒長押しします。
温水ボタンが赤く点灯し、温水が選択されます。
温水ボタンが赤く点灯している間に、○を押し続け、出水を確認します。



- ⑤ 約40分後に冷水・温水ともに適温になります。

※初回設置時は通水経路に空気層があるため、出水するまでに時間がかかる可能性があります。
※初めてご利用いただく際は、水の臭いや味に違和感を覚える場合がございます。
その場合は給水タンクを満水にした後、冷水・温水より水を出し切ってからお使いください。
さらに気になる方は、同じ手順で冷水・温水より水を出し切ってください。

使用方法

出水方法

※ HOT スイッチが OFF のときは、温水・白湯を選択できません。

- ① 操作パネルの表示が消えているときは、操作パネルに触れるか、 を 1 回押してください。
- ② 水の種類（温水・白湯・常温水・冷水）を選択します。



ボタン	 温水	 白湯	 常温水	 冷水
選択操作	温水ボタンを3秒間長押しします。ボタンが白点滅し、3秒後に赤く点灯して温水が選択されます。	白湯ボタンを3秒間長押しします。ボタンが白点滅し、3秒後に赤く点灯して白湯が選択されます。	常温水ボタンを押します。ボタンが青く点灯し、常温水が選択されます。	冷水ボタンを押します。ボタンが青く点灯し、冷水が選択されます。

- ③ 出水ボタンを押します。

ボタン	 出水ボタン	 定量出水ボタン
出水できる水の種類	温水・白湯・常温水・冷水	常温水・冷水
出水動作	ボタンを押している間、選択中の水を出水します。	ボタンを一度押すと、選択中の水を約 200ml まで出水します。出水途中にもう一度押すと、出水が止まりリセットされます。

再加熱ボタンについて

※ HOT スイッチが OFF のときは、再加熱機能を利用できません。

温水を約 90℃まで再加熱するための機能です。通常の温水温度から約 1 分かかります。

- ①  を押します。
「ピッ」と音がして、加熱がスタートします。
- ② 加熱が完了すると、 は白点灯に変わり、 上のランプは点灯に変わります。

 は赤点灯し、 上のランプが点滅します。



- ③ 加熱された温水を利用する場合は、上の「出水方法」の手順をご確認ください。



- ④ 温水温度が通常温度（約 85℃）まで下がると、 上のランプは消灯します。



※再加熱をキャンセルする場合は、加熱中（赤点灯中）にもう一度再加熱ボタンを押してください。
※加熱中（赤点灯中）も冷水・常温水・白湯・温水をそれぞれご利用いただけます。

⚠ 注意

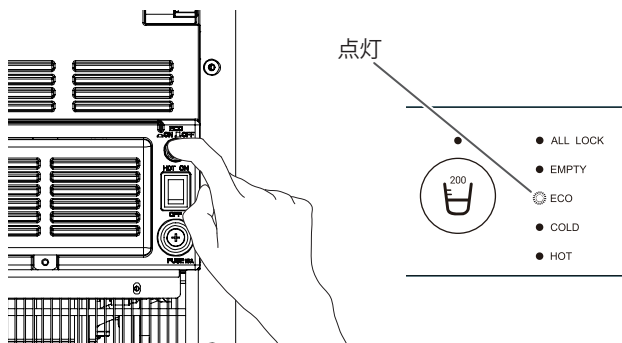
- ・温水・白湯の出水時は火傷にご注意ください。
- ・HOT スイッチが OFF のときは、ご利用いただけません。
- ・エコモード作動中はご利用いただけません。

使用方法（つづき）

エコモードについて

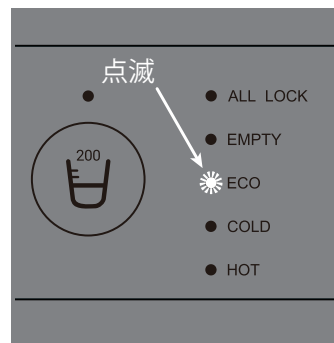
エコモードを ON にするとエコセンサーが光を感知し、夜間等のお部屋が暗いときに、温水の消費電力を抑えることができます。

- ①背面の ECO スイッチを ON にします。
操作パネルの ECO ランプが点灯します。

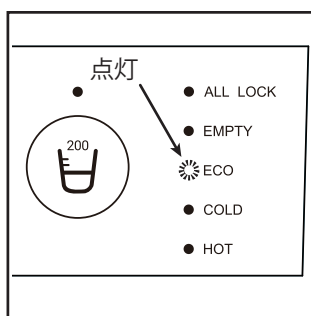


- ②お部屋が暗くなると ECO ランプはゆっくり点滅し、エコモードが作動していることをお知らせします。

エコモード作動中は温水の加熱が停止し、HOT ランプは消灯します。



- ③お部屋が明るくなると ECO ランプは点滅から点灯に変わり、温水の加熱が始まります。



⚠ 注意

- ・エコモードの作動中及び解除直後は、温水・白湯・常温水の温度が低くなっています。
- ・長時間暗いお部屋に設置される場合は、エコモードを解除の上ご利用ください。

ALL LOCK スイッチについて

背面にある ALL LOCK スイッチを ON にすると、操作パネルのボタンをすべてロックします。
操作パネルのランプが消灯し操作を受け付けなくなります。
ALL LOCK ランプが点灯しているとロック状態です。



給水タンクへの注ぎ足しについて

給水のお知らせ

「ピピッ」とアラーム音が鳴り、正面の電源ランプが点滅したら給水のサインです。

給水タンクに水道水を注いでください。

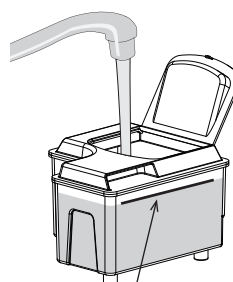
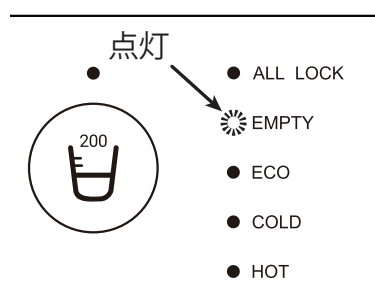
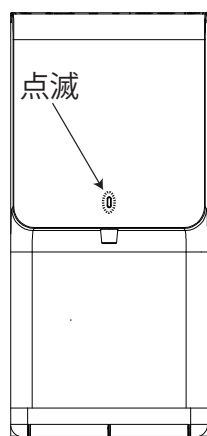
※給水タンク容量は3リットルです。

出水の自動停止

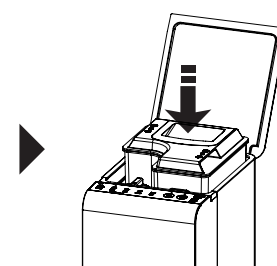
さらに水が減ると、「ピピピッ」とアラーム音が鳴り、EMPTY ランプが点灯し、出水を自動的に停止します。

これは、水がない状態で出水操作を行うと機器内部に空気が入り、給水後の出水時に大きく水が飛び散るのを防ぐための安全機能です。

温水の場合、火傷のリスクにつながる恐れがあるため、出水が停止した場合は速やかに水道水を注ぎ足してください。



赤い線まで注ぎ足してください

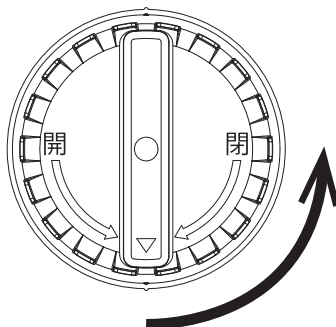


給水タンクを戻す際はしっかり下に押し込んでください

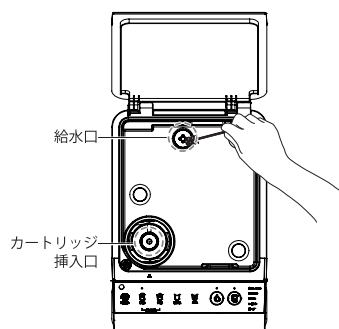
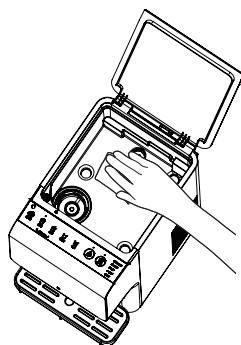
浄水カートリッジ交換方法

※ 12 か月に一度の頻度で浄水カートリッジを交換してください。

① 矢印の方向へ回して外します。



② カバー内部を乾いた布等で拭き取り、給水口と浄水カートリッジ挿入口を細いブラシ等で清掃してください。



⚠ 注意

カバー内部の清掃には洗剤を使用しないでください。

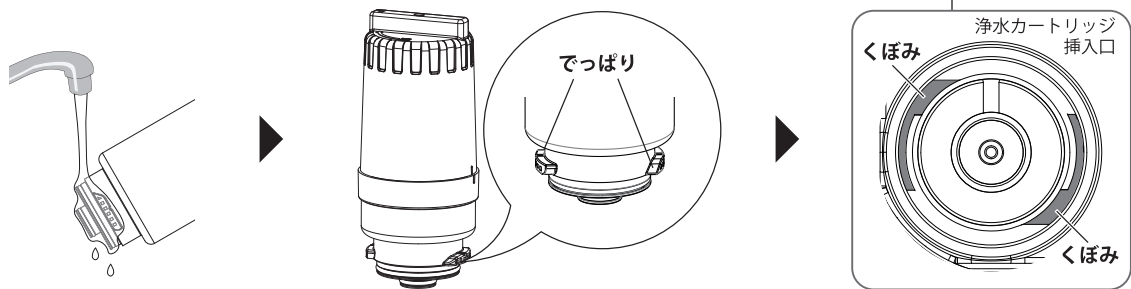
P.11 のつづきに進んでください。➡

浄水カートリッジの交換方法（つづき）

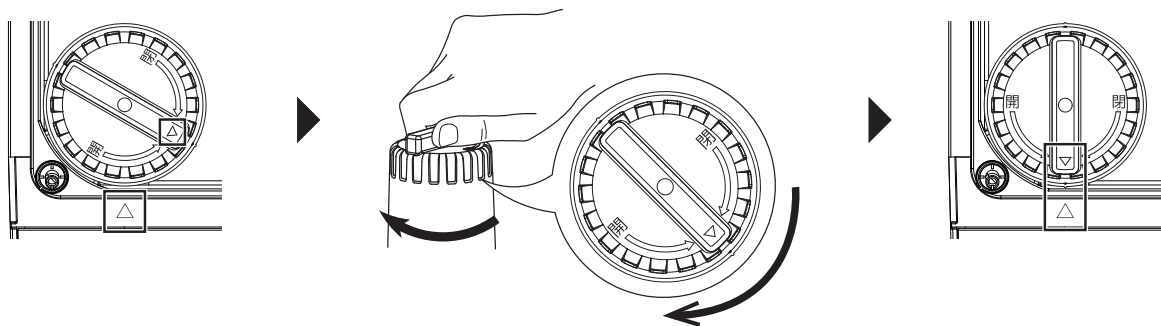
③新しい浄水カートリッジを取り付けます。

1. 浄水カートリッジの包装とキャップを外します。

あらかじめ浄水カートリッジの下部を水道水で濡らし、2 か所のでっぱり（下図参照）を浄水カートリッジ挿入口の2 か所のくぼみに合わせ入れます。



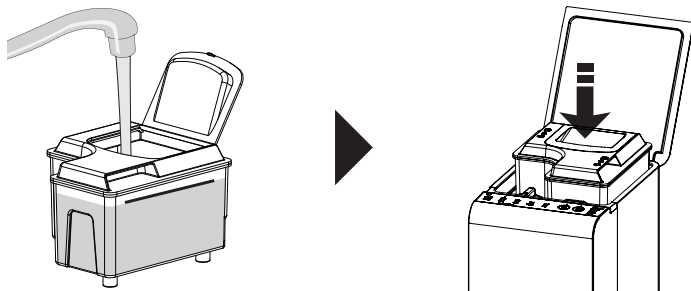
2. 浄水カートリッジ上面に記載された▽を真下に押しながら、本体側の△に合わせるように矢印の方向に回してください。



④給水タンクに水道水を注ぎ、ウォーターサーバーにセットします。

※給水タンクの容量は3 リットルです。

※給水タンクをセットする時は、しっかり下に押し込んでください。



⑤出水の確認をします。※水受け皿の上にコップを用意してください。

1. 冷水の出水確認をしてください。

 を押して、冷水を選択します。

 を押し続け、出水を確認します。

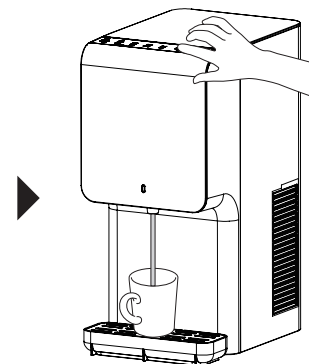
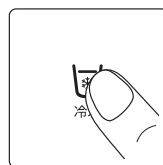
出水が安定するまで水を出し続けてください。

2. 温水の出水確認をしてください。

 を約3秒長押しします。

 が赤く点灯して、温水が選択されます。

 を押し続け、出水を確認します。



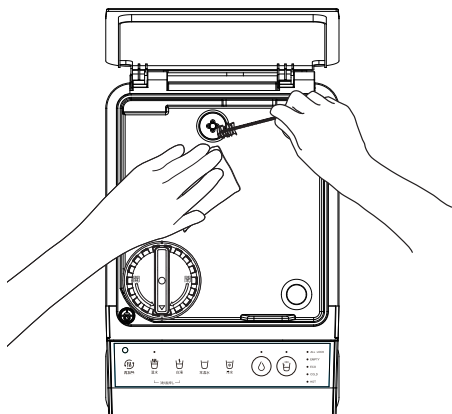
⚠ 注意

冷水の出水確認を必ず先にしてください。
交換直後は出水が安定せず火傷の恐れがあります。

定期的な清掃のお願い

カバー内部（給水口含む） 1週間ごとと浄水カートリッジ交換時の清掃

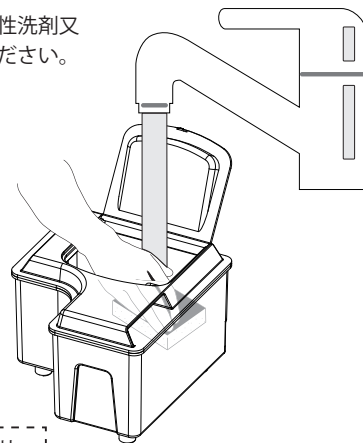
溜まった水を拭き取り、給水口は細いブラシ等を使って清掃してください。



※洗剤で洗わないでください。

給水タンク 1週間ごとと浄水カートリッジ交換時の清掃

給水タンクを取り外し、中性洗剤又は水できれいに洗浄してください。



※給水タンク内の水位センサーと水位センサーキャップを取り外す際は、紛失しないようご注意ください。

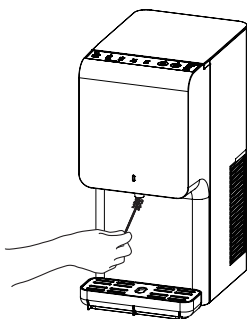
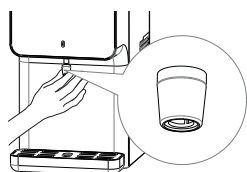
出水口

1週間ごとの清掃

出水口は常に湿っており、空気中のちりやほこりが付着しやすくなっています。長い間放置しておくと、異物となってコップに落ちることがあります。

出水口部分の部品は取り外せますので、汚れが気になりましたら中性洗剤又は水できれいに洗浄してください。

また部品を取り外した後の出水口も、ブラシ等で定期的に清掃してください。



※出水口を清掃する際は、火傷にご注意ください。また、ブラシを奥まで入れないでください。

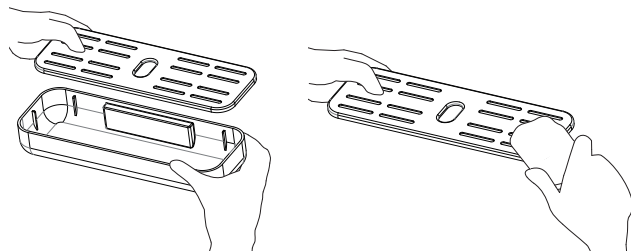
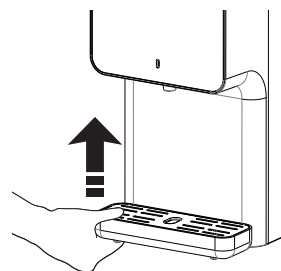
水受け皿

1週間ごとの清掃

水受け皿本体は上に引き上げると簡単に外れます。水受け皿のふたは取り外しできます。

中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください。

水受け皿とふたは水気をよく拭き取ってから取り付けてください。

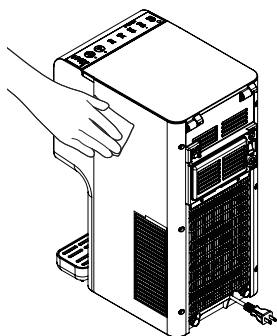


本体と背面部分

1か月ごとの清掃

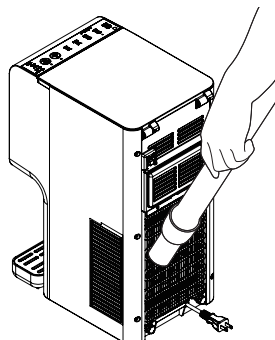
本体は、乾いた清潔な布、若しくは水を含ませよく絞った布等で拭いてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませたスポンジ等で洗浄した後、水を含ませ、よく絞った布で拭きあげてください。



※シンナー、ベンジン、アルコール、研磨剤を含む洗剤や硬いたわし等は使用しないでください。変色やキズの原因になります。

背面は、付着した綿ほこり等を掃除機で吸い取った後、水を含ませた柔らかい布等をよく絞り、拭いてください。



※高温による火傷防止のため、電源プラグを抜いて、しばらくたってからおこなってください。

その他の注意点

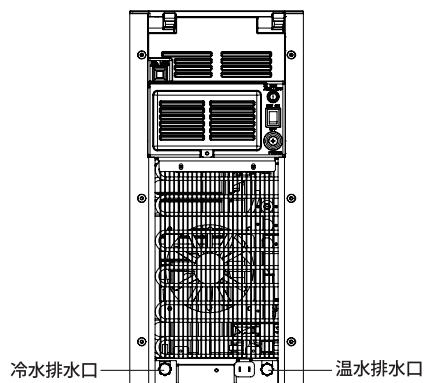
排水口について

ウォーターサーバーの背面下に排水口があります。

排水口のキャップを外すと勢いよく排水されますので、水抜きをする場合以外は絶対に外さないでください。

特に、右側の排水口からは勢いよく温水が出ますので、ご利用中は絶対に触らないようにしてください。

※引越時・移動時に水抜きをする場合は、P.15「Q & A」の Q6 をご参照ください。



注意

排水口のキャップ部分に触れることで、
水漏れや火傷の危険性が高まりますので触れないでください。

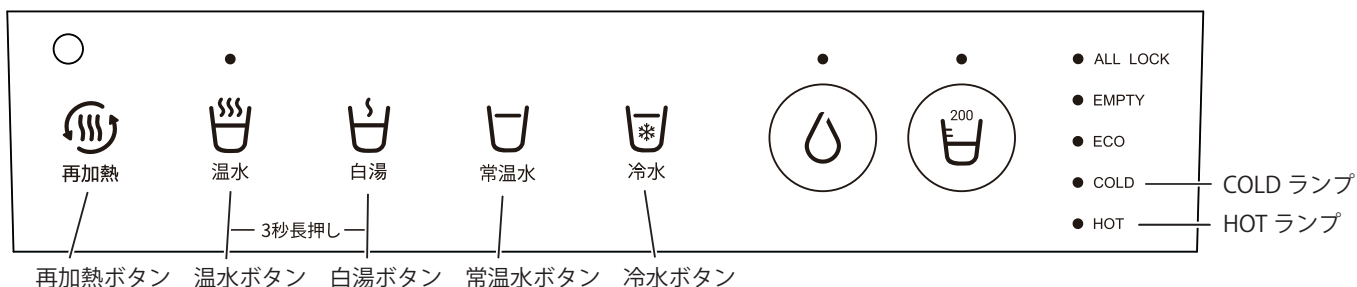
冷媒について

本製品は地球温暖化への影響が極めて少ないノンフロン冷媒（R600a）を採用しています。

ノンフロン冷媒は可燃性ですが、冷媒回路に密閉されていますので、通常は漏れ出すことはなく安全です。

エラー表示

製品に何らかの異常が発生した場合は、操作パネル部のランプと音でお知らせします。



ランプ点灯状態	音の状態	異常内容	対処
HOT ランプの点滅	10 秒間隔で 3 回鳴る	温水タンクの温度センサー故障 温水過熱異常 温水加熱は停止	電源プラグをコンセントから抜き、P.15 下の問合せ先までご連絡ください。
COLD ランプの点滅	10 秒間隔で 3 回鳴る	冷水タンクの温度センサーの故障 冷水冷却は停止	
冷水ボタン＞常温水ボタン＞白湯ボタン＞温水ボタン＞再加熱ボタンの順番で点滅	10 秒間隔で 3 回鳴る	温水タンクの温度センサーの故障 温水加熱・冷水冷却・出水は停止	
再加熱ボタン＞温水ボタン＞白湯ボタン＞常温水ボタン＞冷水ボタンの順番で点滅	10 秒間隔で 3 回鳴る	冷水タンクの温度センサーの故障 温水加熱・冷水冷却・出水は停止	

故障かな!?と思ったら

症状	原因	対応
操作パネルのランプが点灯していない	●電源プラグが抜けている	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●1分以上無操作であった	●1分以上無操作のときは、操作パネルのボタンが消灯します。操作パネルのボタン部分にタッチするか、出水ボタンを一度押してください。
水が出ない 水の出が少ない	●給水タンクの水が少ない (EMPTY ランプが点灯している)	●給水タンクに水道水を補充してください。
	●背面の ALL LOCK スイッチが ON になっている (操作パネルの ALL LOCK ランプが点灯している)	●ALL LOCK スイッチを OFF にしてください。
	●エラー表示が出ている (P.13 参照)	●P.15 下のお問合せ先までご連絡ください。
	●浄水カートリッジが取付けられていない、又は 浄水カートリッジの取り付け不良	●浄水カートリッジを取り付けてください。
	●浄水カートリッジが古い	●目詰まりしている可能性があります。新しい浄水カートリッジに交換してください。
冷水が冷たくない	●一度に大量の冷水を出水した	●冷水が冷えるまで 40 分ほどお待ちください。
	●冷水タンクの温度センサーの故障 冷水ランプの点滅と「ピー、ピー」音	●P.15 下のお問合せ先までご連絡ください。
	●背面の放熱板の放熱不良	●背面の放熱板をふさいでいるものを取り除いてください。 ●製品を換気の良い場所に移動してください。
温水が熱くない	●エコモードが作動中又はエコモードの作動解除直後である	●背面の ECO スイッチを OFF にして 40 分ほどお待ちください。
	●一度に大量の温水を出水した	●温水温度が上がるまで 40 分ほどお待ちください。
	●背面の HOT スイッチが OFF になっている (操作パネルの HOT ランプが消灯している)	●HOT スイッチを ON にしてください。
	●温水タンクの温度センサーの故障 温水ランプの点滅と「ピー、ピー」音	●背面の HOT スイッチを OFF にして、P.15 下の問合せ先までご連絡ください。
再加熱しない	●エコモードが作動中	●背面のエコスイッチを OFF にしてください。
	●背面の HOT スイッチが OFF になっている 操作パネルの HOT ランプが消灯している)	●HOT スイッチを ON にしてください。
エコモードにならない	●室内が明るい	●エコモードは、ほぼ真っ暗な状態で作動します。
	●背面の ECO スイッチが OFF になっている	●ECO スイッチを ON にしてください。
水が漏れている ※水漏れが確認された場合は、まず電源プラグを抜いてください。	●給水タンクが正しくセットされていない	●給水タンクをセットし直してください。 それでもカバー内部に水が漏れる場合は、給水タンクを取り外し、P.15 下のお問合せ先までご連絡ください。
	●浄水カートリッジの取付け不備	●浄水カートリッジがきちんと取り付けられているか確認してください。
	●排水口のキャップがゆるんでいる	●排水口のキャップを締め直してください。その際、温水が出る可能性がありますので、火傷にご注意ください。
	●内部からの水漏れ	●P.15 下の問合せ先までご連絡ください。
	●出水口からの水漏れ	
水の臭い、味がおかしい	●浄水カートリッジの交換時期が過ぎている	●新しい浄水カートリッジに交換してください。
	●給水タンクが汚れている	●P.12「定期的な清掃のお願い」をご参照いただき、給水タンクを清掃してください。
	●初回設置時の出水確認（捨て水）が足りない	●給水タンクを満水にした後、冷水・温水より水を出し切ってからお使いください。 さらに気になる方は、同じ手順で冷水・温水より水を出し切ってください。

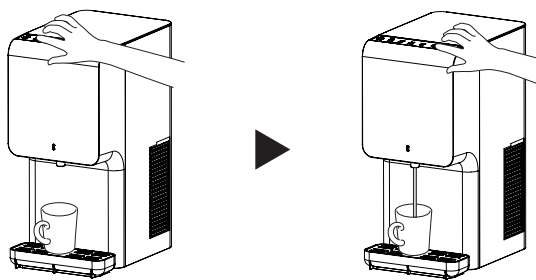
Q1 ウォーターサーバーの設置場所はどこがいいですか？

A1 水平で安定したところかつ、電源が確保できる場所をお願いします。
強度が弱い場所（畳・クッションフロア・絨毯・床暖房等）、屋外や湿度が高くなるところ、不衛生な場所や熱源に近いところ、直射日光が当たる場所は避けてください。

また、ウォーターサーバーのまわりに水に弱い物をおかないようご注意ください（電子機器・時計・革製品・書籍等）。

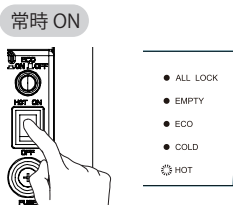
Q2 新しい浄水カートリッジに交換したのですが、水が出ません。

A2 新しい浄水カートリッジには水が通っていないので、すぐに出水しません。冷水・温水が出るまでボタンを押し続けてください。



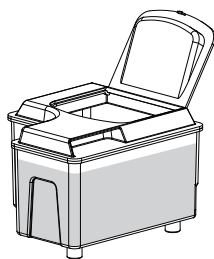
Q3 温水は利用しないので HOT スイッチを OFF のまま使用することは可能ですか？

A3 HOT スイッチを OFF のまま使用すると、本体内部が不衛生となり雑菌により臭いを発することがあります。必ず HOT スイッチを ON のままにご利用ください。



Q4 給水タンクの水はどのくらいで使い切れればいいですか？

A4 2 日を目安に使い切ってください。
2 日以上使わない場合は、給水タンクの水は入れ替え、温水、冷水をそれぞれコップ 2 杯程度を捨て水としてください。



Q5 長期不在時の対処方法を教えてください。

A5 電源と温水は切らないでください。
不在時には以下の手順をおこなってください。
①給水タンクの水を空にする
②冷水を出し切る
③浄水カートリッジを取り外し、ジップ袋等に入れ冷蔵庫に保管する。

※再度ご利用前には、給水タンクを洗浄してください
浄水カートリッジをセットした後、給水タンクに水道水を注いでください。給水がスタートします。
給水が完了したら、ご利用前に出水口を清掃し、温水・冷水それぞれ 1L 程度を捨て水としてください。

Q6 引越時・移動時の対処法を教えてください。

A6 水漏れを避けるために水抜きをします。
以下の手順で行ってください。

① HOT スイッチを OFF にして電源プラグを抜きます。

熱い温水を冷ますため 6 時間以上経過してから、次の作業をお願いします。

② 給水タンク内の水を空にしてください。

③ ウォーターサーバー背面にある 2 か所の排水口のキャップを外して、水が出なくなるまで排水してください。

※水が勢いよく出ますので大きめのバケツを利用してください。

排水口のキャップは捨てたり、紛失したりしないようご注意ください。

④ 排水口のキャップをしっかりと締めてください。

※再度ご利用になる際は、P.7「初回設置の手順 3-⑤」からの手順を行います。

ご利用になる前に、給水タンク・出水口付近を清掃してください。P.12「定期的な清掃のお願い」を参照ください。

給水中に水が出ることがありますので、出水口下にコップを置いてください。出水の確認をしたら排水口のキャップから水が漏れていないことを確認してください。



故障かな!? と思ったら (P.14) をよくお読みいただき、

再度で確認の上でも不具合がある場合は、下記までご連絡ください。

Locca

カスタマーセンター



0570-026-363

営業時間：10:00 - 18:00 (年末年始は除く)